

衆議院農林水産委員会ニュース

【第 203 回国会】令和 2 年 12 月 8 日（火）、第 8 回の委員会が開かれました。（閉会中審査）

1 農林水産関係の基本施策に関する件（畜産問題等）

- ・野上農林水産大臣、葉梨農林水産副大臣、池田農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）石川香織君（立民）、金子恵美君（立民）、武部新君（自民）、稲津久君（公明）、濱村進君（公明）、近藤和也君（立民）、田村貴昭君（共産）、森夏枝君（維新）、玉木雄一郎（国民）

（質疑者及び主な質疑事項）

石川香織君（立民）

- （1） 北海道における種ばれいしょ不足による来年度の一般ばれいしょ生産への影響及び種芋農家の事業の継続性についての所見
- （2） 酪農家への支援についての大臣の見解
- （3） 平成 29 年改正畜安法関係
 - ア 指定事業者以外の会社による集乳拒否が原因で生産者が生乳を廃棄していた事案についての所見
 - イ 生乳の安定供給と生産者の自ら生乳を高く売りたいという意欲の両立についての所見
 - ウ いわゆるいいとこ取りを可能とする制度の不備を改善するための農林水産省の取組の効果
 - エ 生乳を絶対廃棄させないという農林水産大臣の決意
- （4） 地域の事情に即した農業共済組合の在り方

金子恵美君（立民）

- （1） 我が国の畜産及び酪農の将来像
- （2） 牛肉の輸出産地の選定方法を含めた農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略の内容
- （3） 小規模畜産農家への支援についての農林水産大臣の認識
- （4） 吉川元農林水産大臣への献金関係
 - ア アニマルウェルフェアについての政府の取組
 - イ 採卵鶏のアニマルウェルフェアに関する国際獣疫事務局（以下、「OIE」という。）コード案に対する日本のコメントにおける吉川元農林水産大臣の影響
 - ウ 農林水産省内の調査の必要性
- （5） 原発事故被災地の畜産及び酪農家への支援についての農林水産大臣の認識
- （6） 牛マルキンの算定方法における更なる運用改善の必要性

武部新君（自民）

- （1） 高病原性鳥インフルエンザの発生状況と政府の対応
- （2） 畜産及び酪農に対する新型コロナウイルス感染症の影響及び支援対策の在り方
- （3） 生乳需給安定に向けた取組における機動的な支援及び恒常的な出口対策の必要性
- （4） 国産チーズの競争力強化対策に注力する必要性
- （5） ドライバー不足による輸送費の上昇等を適切に反映した集送乳調整金の設定及び集送乳の経費削減のための合理化の重要性
- （6） 牛肉をはじめとした畜産物の輸出拡大の取組の方針
- （7） 畜産及び酪農の生産基盤の強化に対する政府の意気込み

稲津久君（公明）

- (1) バター及び脱脂粉乳の在庫の現状及び対策
- (2) ドライバー不足による集送乳コスト増加の影響についての現状と対策
- (3) 規模要件が緩和された畜産クラスター事業の基金化等予算確保の重要性についての見解

濱村進君（公明）

新型コロナウイルス感染症関係

- ア 牛枝肉卸売価格への影響
- イ 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業等の新型コロナウイルス感染症対策の今後の取扱い
- ウ 牛マルキンの生産者負担金の納付再開についての方針
- エ 原皮事業者等の食肉の生産流通の一翼を担う周辺事業者への支援策

近藤和也君（立民）

- (1) 家畜防疫関係
 - ア 令和2年6月の飼養衛生管理基準の改正による現場への影響
 - イ 防鳥ネット等の整備に対する国の予算の活用について自治体やJAに周知する必要性
 - ウ 高病原性鳥インフルエンザ発生農場と豚熱発生農場における経営再建の割合についての所見
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策である国産農林水産物等販売促進緊急対策の後継対策及び対象期間の前後で生じる不公平感の解消についての今後の方針
- (3) 主食用米の在庫増加や価格下落を踏まえた対処方針
- (4) Go To Eat キャンペーン事業の今後の方針
- (5) 吉川元農林水産大臣への献金関係
 - ア 採卵鶏のアニマルウェルフェアに関するOIEコード案に対する今後の対応方針
 - イ 捜査に関する農林水産省又は野上農林水産大臣への協力要請の有無
 - ウ 農林水産省が自発的に調査を行う意思の有無
 - エ OIEコード2次案に対して日本が行った昨年1月のコメントについての吉川元農林水産大臣の決裁又は関与若しくは把握の有無
 - オ 現在のOIEコード5次案に対するコメント発出予定の有無及び野上農林水産大臣の関与
 - カ 吉川元農林水産大臣とアキタフーズ元代表又は日本養鶏協会との接見記録の有無
 - キ 野上農林水産大臣と日本養鶏協会との面会の有無及び同協会によるOIEコード案に係る要望の有無
 - ク 平成30年度第2回OIE連絡協議会の臨時メンバーに秋田正吾氏（アキタフーズ前社長）を選んだ経緯及び吉川元農林水産大臣等の当時の認識

田村貴昭君（共産）

- (1) 吉川元農林水産大臣への献金関係
 - ア アキタフーズ元代表が過去、農林水産大臣室を訪問した記録の有無
 - イ 農林水産大臣が秘書官、担当職員の同席なしで訪問者と面談をする機会の有無及び大臣室で秘書官、担当職員の同席なしで訪問者に対応することの有無
 - ウ 吉川元農林水産大臣とアキタフーズ元代表との面談についての事実関係
 - エ 吉川元農林水産大臣とアキタフーズ元代表との面談記録、現職幹部等への接待の事実関係に関する説明責任についての農林水産省の見解

- (2) 高病原性鳥インフルエンザ関係
 - ア 発生農家への殺処分の手当金に対する従来にない支援措置の必要性
 - イ 防疫業務遂行上、発生地における行政と現場間のオンラインでの情報共有を農林水産省がイニシアチブをとって推進する必要性
 - ウ 殺処分に関わる自治体職員の手当に対する国の支援を拡充する必要性
 - エ 防疫業務に当たる職員の心身の健康に配慮するよう全国通知を発出する必要性
- (3) 牛マルキン制度に拘泥せず肉用牛生産者への支援策を講じることに対する見解

森夏枝君（維新）

- (1) 福島県産牛肉について
 - ア 福島県産牛肉価格の現状
 - イ 震災から10年を迎えるに当たり風評払拭に向けた農林水産大臣の決意と今後の対策
- (2) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた酪農家への支援策とその効果
- (3) 国際的なイベントや海外の販路拡大に向け投資や挑戦を行う農業者への支援策
- (4) アニマルウェルフェア推進における農業者への具体的支援内容
- (5) 和牛等の過剰在庫の学校給食への提供についての支援策及びそれに伴う食育面における効果
- (6) 若者が担い手となれる農業とするための支援策

玉木雄一郎（国民）

高病原性鳥インフルエンザ関係

- ア 移動制限区域外から移動制限区域内の農場への初生ひなの搬入及びふ化 72 時間以降のひなの搬入制限に関する国の今後の方針
- イ 減収が生じた農業者への支援措置
- ウ 需給調整で農林水産省が果たす役割の重要性
- エ 高病原性鳥インフルエンザの影響で技能実習が継続困難となった外国人技能実習生に対する特定活動への在留資格変更等の特例措置の必要性についての法務省及び農林水産大臣の見解

2 令和3年度畜産物価格等に関する件

- ・宮下一郎君外5名（自民、立民、公明、共産、維新、国民）から提出された令和3年度畜産物価格等に関する件の決議案について、提出者緑川貴士君（立民）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを委員会の決議とすることに決しました。
（賛成—自民、立民、公明、共産、維新、国民）
- ・野上農林水産大臣から発言がありました。